

大学番号：私351

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

広島女学院大学 国際教養学部 国際教養学科

注2

【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人広島女学院
平成28年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	ヒシヨ コウホウカ チョウ サトウ ユウ コ 秘書・広報課長 佐藤木 綿子 ヒシヨ コウホウカ シュニン ア ヘ キョウコ 秘書・広報課主任 阿部 享子
電話番号	082-222-3882
（夜間）	082-222-3882
F A X	082-221-6661
e-mail	kikaku@gaines.hju.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際教養学部

<国際教養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 既設大学等の状況	4
3. 教員組織の状況	5
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	6

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人広島女学院

(2) 大学名

広島女学院大学

(3) 大学の位置

〒732-0063

広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称、定員等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際教養学部 国際教養学科 学士(国際教養学)	4 年	240 人	年次 人	960 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	広島女学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際教養学部									
国際教養学科	4	240	-	960	学士 (国際教養学)	0.55	平成24年度	広島県広島市東区 牛田東四丁目13番1号	
人間生活学部									
生活デザイン・建築学科	4	70	-	280	学士 (家政学)	0.8	平成24年度	同上	
管理栄養学科	4	70	-	280	学士 (家政学)	1.07	平成24年度	同上	
幼児教育心理学科	4	90	-	360	学士 (幼児教育心理学)	0.97	平成24年度	同上	
文学部									
日本語日本文学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成12年度	同上	平成23年より学生募集停止
英米言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成12年度	同上	平成23年より学生募集停止
幼児教育心理学科	4	-	-	-	学士 (幼児教育心理学)	-	平成19年度	同上	平成23年より学生募集停止
生活科学部									
生活デザイン・情報学科	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	平成16年度	同上	平成23年より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

3 教員組織の状況

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
17	14	2	0	33	12	7	4	5	28
(17)	(14)	(2)	(0)	(33)					

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

(2) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
65 歳	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>・国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>・平成28年度入試において新規の入試制度（アドミッション・ポリシー入試）を導入するとともに多様な受験生を呼び込むための工夫を施した。</p> <p>・受験パターンに従って広島県内の高等学校を3つに類型し、6月～12月を3期に分けて学部所属教員全員と入試課職員が分担して各校を複数回訪問し学生募集に努めた。</p> <p>・学外における出張講義や学部・学科説明会の回数を前年度よりも増やした。</p> <p>・オープンセミナー入試並びに推薦入試による入学予定者を対象にした入学前プログラム（事前指導やスクーリング）をさらに充実させ、高校に広報した。</p> <p>・在学生による海外研修・海外留学の報告会を充実させることにより、国際教養学部が目指すグローバル教育のねらいを在学生に浸透させ、大学案内等の広報媒体に反映させた。</p> <p>・学部所属教員全員が、ゼミあるいは課外において4年次生（第一期卒業生）に対する就職支援に取り組み就職実績を高めるとともに、就職内定者の情報を広報に活用した。</p> <p>・学部内の校務分掌に広報担当の業務を設けてホームページや印刷物による広報活動を強化し、学内外の教育活動を積極的に発信した。</p>	<p>・平成29年度大学案内冊子並びに各種メディアにおいて、14種類の専攻プログラム（メジャー）を、「英語系メジャー」、「国語系メジャー」、「社会系メジャー」、「ビジネス・情報系メジャー」の4つの分野に収斂させることにより国際教養学科のカリキュラムを分かりやすく示す。</p> <p>・平成28年実施予定のオープンセミナー及びオープンキャンパスと、平成29年度AO入試では、「～系メジャー」を可視化させることにより入学後の学びの様子を把握しやすくする。</p> <p>・教職員による入試広報チームを組織し、一貫性のある広報活動を集中的に展開する。</p> <p>・大学改組推進委員会において、平成30年度施行を目指して、学部・学科の改組、定員の削減、カリキュラムの全面改編などを鋭意検討中である。具体的には以下の項目を中心に議論を重ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部・学科の構成と名称 (2) 定員 (3) 養成すべき学生像 (4) 特色あるカリキュラム (5) グローバル人材の育成と地域連携に資する科目群 (6) リベラルアーツ教育の確立（基礎教養科目と専門科目の連動性）
			<ol style="list-style-type: none"> (7) 小人数教育（セミナー制、チューター制）の在り方 (8) 教職課程（外国語科と国語科）と各種資格 (9) 長期インターンシップならびに長期海外研修の単位化 (10) 改革案の妥当性と募集効果に関するエビデンスの構築方法、など

(注) ・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。

注3

大学番号：私351

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

広島女学院大学 人間生活学部 幼児教育心理学科

注2

【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人広島女学院
平成28年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	ヒシヨ コウホウカ チョウ サトウ ユウ コ 秘書・広報課長 佐藤木綿子 ヒシヨ コウホウカ シュニン ア ヘ キョウコ 秘書・広報課主任 阿部享子
電話番号	082-222-3882
（夜間）	082-222-3882
F A X	082-221-6661
e-mail	kikaku@gaines.hju.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間生活学部

< 幼児教育心理学科 >		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 既設大学等の状況	4
3. 教員組織の状況	5
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	6

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人広島女学院

(2) 大学名

広島女学院大学

(3) 大学の位置

〒732-0063

広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称、定員等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間生活学部 幼児教育心理学科 学士(幼児教育心理学)	4 年	90 人	年次 人	360 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	広島女学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際教養学部									
国際教養学科	4	240	-	960	学士 (国際教養学)	0.55	平成24年度	広島県広島市東区 牛田東四丁目13番1号	
人間生活学部									
生活デザイン・建築学科	4	70	-	280	学士 (家政学)	0.8	平成24年度	同上	
管理栄養学科	4	70	-	280	学士 (家政学)	1.07	平成24年度	同上	
幼児教育心理学科	4	90	-	360	学士 (幼児教育心理学)	0.97	平成24年度	同上	
文学部									
日本語日本文学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成12年度	同上	平成23年より学生募集停止
英米言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成12年度	同上	平成23年より学生募集停止
幼児教育心理学科	4	-	-	-	学士 (幼児教育心理学)	-	平成19年度	同上	平成23年より学生募集停止
生活科学部									
生活デザイン・情報学科	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	平成16年度	同上	平成23年より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

3 教員組織の状況

<人間生活学部 幼児教育心理学科>

(1) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
6	6	1	0	13	5	6	1	0	12
(6)	(6)	(1)	(0)	(13)					

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

(2) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
65 歳	1 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>・人間生活学部幼児教育心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>・平成27年度末をもって退職年齢を超える専任教員のうち2名が退職となった。残り1名については平成28年度末で退職予定となっている。</p> <p>・平成28年度の幼児教育心理学科の教員の年齢構成は、70歳代が1名、60歳代が1名、50歳代が5名、40歳代が2名、30歳代が3名となる。今後、教員の採用事案が生じた場合は、学科教員の年齢構成に十分配慮しつつ採用することとする。</p>	—

(注) ・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。